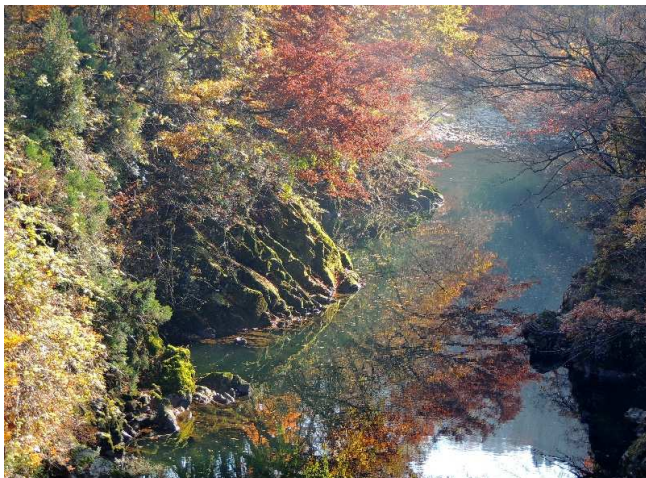


令和6年度 第7回朝日スーパーライン写真コンテスト 入賞作品一覧

【会長賞】

五十嵐 貞一（鶴岡市）「晩秋の赤川溪谷」(撮影:鶴岡市下田沢地内)



【審査員講評】

黒い岩肌のごつごつ感と川面に映る紅葉と青の水面が反逆光の中で美しい色彩を出し、画面に引き込まれていくようです。

【副会長賞】

石崎 幸宏（東田川郡庄内町）「深まるダム湖の秋」(撮影:鶴岡市荒沢地内)

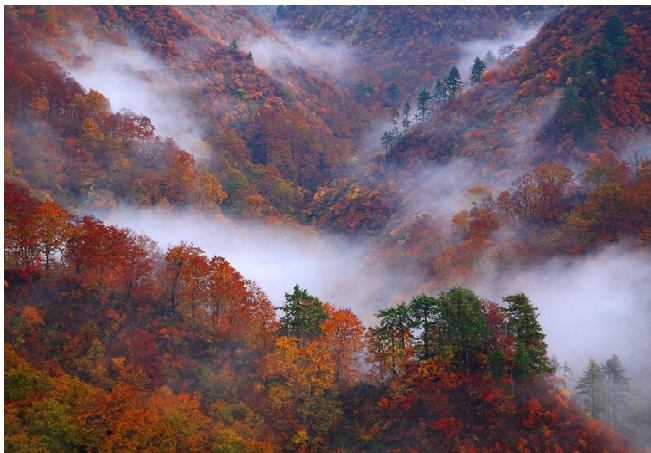


【審査員講評】

遠近感、色彩と見事な景色となって、魅了されます。この場所にカメラを向けたカメラマン力量が素晴らしいです。

【優秀賞】

貝沼 利明（村上市）「晩秋」(撮影:村上市三面地内)



【審査員講評】

朝日の山のふところの深さが実感され、霧と針葉樹がアクセントになり、自然の素晴らしい演出に感動される作品です。

【優秀賞】

齋藤 勝美（山形市）「秋の清流」(撮影:鶴岡市大針地内)



【審査員講評】

シャッターを遅くして、川の流れをまろやかに捉え、秋の柔らかい日差しの風景写真となっています。

【入選】

大滝 和也（村上市）「風薫る山稜」(撮影:村上市三面地内)



【審査員講評】

夏の朝日連峰、遠くに以東岳と主稜線、善六池。登山者は三面から上がって来たのだろう。鶴岡と村上の最深部にふれました。

【入選】

五十嵐 貞子（鶴岡市）「春を待つ湯の沢岳山麓の風景」(撮影:鶴岡市本郷地内)



【審査員講評】

大鳥川の綺麗な山の雪解け水。護岸の雪の下の芽吹がもう少し先ですが、確実に春がそこまで来ている予感がします。

【入選】

三浦 一喜（鶴岡市）「秋の流れ」(撮影:鶴岡市荒沢地内)



【審査員講評】

枯葉が積もり秋の寂しさの中、スローシャッターで一筋の沢の流れによってまだ冬には早いと頑張っていると言いたげな感じがします。